

## 政務活動記録簿 (年会費負担)

会派・議員名 池田 慎久

年 月 日	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月			
年会費名	奈良政策研究会 会費			
相手方	奈良政策研究会			
年会費支払目的	研修会や講演会、意見交換会などを通じて各種情報を収集し、奈良県政の発展と地域活性化に取り組む議員活動に役立てることを目的とする。			
按分率の説明	按分率 66.6% (毎月会費 5,216 円のうち、3,473 円を充当)			
活動内容等 ※年会費支払いの効果を明記のこと	<p>◆本会の活動内容 奈良県の活動や地方創生等、政策面での研修会や講演会を実施。参加者との意見交換や情報交換を実施。</p> <p>◆本会の活動頻度 年 4 回程度の研修会、講演会等を実施。</p> <p>◆参加者の状況 奈良県議会議員をはじめ県下市町村議会議員、企業経営者や幹部社員が参加。</p> <p>研修会や講演会、意見交換会などを通じて各種情報を収集し、奈良県政の発展と地域活性化に取り組む議員活動に役立てている。</p>			
経費	項目	金額	内容	領収書番号
	4 月会費 4/2	5,216 円	研修会・講演会等費用	2
	5 月会費 5/1	5,216 円	研修会・講演会等費用	1 3
	6 月会費 5/31	5,216 円	研修会・講演会等費用	1 9
	7 月会費 7/2	5,216 円	研修会・講演会等費用	3 2
	8 月会費 7/31	5,216 円	研修会・講演会等費用	4 2
	9 月会費 8/31	5,216 円	研修会・講演会等費用	5 4
	10 月会費 10/1	5,216 円	研修会・講演会等費用	6 8
	11 月会費 10/31	5,216 円	研修会・講演会等費用	7 7
	12 月会費 11/30	5,216 円	研修会・講演会等費用	9 3
	1 月会費 1/4	5,216 円	研修会・講演会等費用	1 0 9
	2 月会費 1/31	5,216 円	研修会・講演会等費用	1 1 5
	3 月会費 2/28	5,216 円	研修会・講演会等費用	1 3 2
	合計 62,592 円 (うち 41,676 円を充当)			
備考	添付資料：奈良政策研究会規約			

注 年会費支払いの規約や会報の表紙等を添付してください。

## 奈良政策研究会規約

### (名 称)

第1条 本会は奈良政策研究会と称し、主たる事務所を大和高田市永和町10-26 近畿ビル内に置く。

### (目 的)

第2条 本会は奈良県発展に資する政策提言をとおして、安全、安心な地域づくりを目的とする。

### (事 業)

第3条 本会は前条の目的達成のため次の事業等をおこなう。

- (1) 研修会、懇親会の開催。
- (2) 政策提言のための委員会の開催。
- (3) 会報、出版物の発刊及び配付。
- (4) 関係諸団体との連携。
- (5) その他、会の目的達成のため必要な事業。

### (構 成)

第4条 本会は規約第2条の目的に賛同する奈良県議会議員、奈良県内の市町村議会議員をもって構成する。ただし、本会の目的に賛同する個人及び法人の入会を認め、賛助会員として各種会合への出席を認める。

2 本会への入退会は役員会の了承を得るものとする。  
(役 員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| (1) 会 長……………1名 | (4) 政策委員長……………5名 |
| (2) 副会長……………2名 | (5) 会 計……………1名   |
| (3) 幹事長……………1名 | (6) 会計監査……………2名  |

2 1の役員以外に顧問、相談役を置くことができる。

3 会長は本会の運営を円滑に進めるため役員会を開催する。

### (任 期)

第6条 役員の任期は2年とする。ただし再任は妨げない。

(総会)

第7条 本会の総会は会員及び賛助会員によって構成される。総会は会長の招集により毎年1回開催する。ただし必要と認めた時は臨時総会を開催することができる。

2 総会は役員を選出、運営に関する基本事項、規約の改廃、その他本規約の定めのない重要事項について決定する。

3 総会は会員の過半数の出席（委任可）で成立し、出席会員の過半数の同意で議決するものとする。

(運営)

第8条 本会の個々の事業運営は役員及び当該事業に関わる会員が行うこととする。

(経費)

第9条 本会の経費は会費（1口＝月額5千円）及び賛助会費（月額個人1口＝5千円、法人1口＝1万円）、寄付金、協力金、事業収入、その他の収入をもって充てる。

(会計年度)

第10条 本会の会計年度は1月1日に始まり、当該年の12月31日に終わる。

(会計監査)

第11条 本会の会計責任者は本会の経理につき、年1回会計監査による監査を受ける。

(その他)

第12条 本規約のほか運営に必要な事項は、別に会長が定め総会の承認を経て実施することができる。

付則 本規約は平成16年11月25日から施行する。

## 第11号様式の5 (第5条関係)

政務活動記録簿 (広報紙の発行・発送等)					
会派・議員名 池田 慎久					
年 月 日	平成 31 年 2 月 22 日 (金)				
表題と発行部数	池田のり久県政報告 (農村地域版) 13,000 部				
対象者	奈良市・山辺郡ほか奈良県内在住者				
配布方法	新聞折込 11,000 部、郵送 794 部、手配り 1,206 部				
発行目的	奈良県政および奈良県議会における取り組み等について、広く県民に広報することを目的とする。 また県民からご意見やご要望等を拝聴する機会とする。				
按分率の説明	按分率 71.9% 県政報告 (農村地域版) のうち、氏名・写真・キャッチフレーズ・政党名・活動写真 3 点等の記載部分の面積を除く 71.9% を充当。				
内容	農村地域における道路整備や鳥獣害対策 農業の環境整備、スマート農業の研究開発、林業の適切な管理 農村地域の発展と活性化 暮らしの安心 (医療・介護・健康維持・予防対策・子育て支援・教育など) 道路整備の要望内容 農村地域に関わる質問項目				
編集・制作・ 発送等に要した 経費	項目	支払先	金額	金額の積算	領収書番号
	編集・製作 印刷代	(株)大和政 経通信社	181,440 円	単価 12.92 円× 13,000 部+消費税	1 2 7 - 1
	新聞折込 2/27、3/11	(株)大和政 経通信社	35,640 円	単価 3.00 円× 11,000 部+消費税	1 2 7 - 2
	振込手数料		540 円		1 2 7 - 3
	郵送料 3/19	日本郵便 (株)	21,114 円	単価 69 円×306 通	1 5 2
	郵送料 3/19	日本郵便 (株)	1,886 円	単価 82 円×23 通	1 5 3
	郵送料 3/19	日本郵便 (株)	21,162 円	単価 69 円×296 通 単価 82 円×9 通	1 5 4
	郵送料 3/19	日本郵便 (株)	11,040 円	単価 69 円×160 通	1 5 5
	※71.9%充当 合計 272,822 円				
備考	添付資料：池田のり久県政報告 (農村地域版)				

注 発行した広報紙を添付してください。

自由民主党のエース! 着々と行動力!! 今こそ、世代交代!

# 池田のり久

奈良県  
議会議員

## 県政報告

自由民主党  
(1期目)



池田のり久事務所 〒631-0845 奈良市宝来3丁目1-10 TEL.0742-48-0680  
公式ホームページ <https://ikeda-norihisa.jp/>



奈良県議会へき地教育・  
過疎対策議員連盟所属

新時代!未来へ挑戦!! 奈良の安心・元気・未来をつくる!

### 県議会、一般質問の登壇最多

#### 農業や地域振興にも尽力

奈良県議会議員の池田のり久は、これまで県議会本会議計14回のうち8回の一般質問に登壇してきました(平成30年9月定例会終了時点)。これは奈良市・山辺郡選挙区で最多、自民党籍の県議会議員21人の中でも最多になっています。中でも農村地域の住民の皆さまが抱える問題や、災害復旧、地域振興策などの県政課題に向き合っており、池田のり久が取り組んできた農村地域における課題解決や振興策などについて、ご報告いたします。

奈良市東部地域(大柳生、東里、狭川、柳生、田原)や南部地域の精華地区、大和高原の都祁地区、月ヶ瀬地区、山添村には、豊かな自然環境と美しい農村風景が広がっています。これらの地域に住む方々は、農業や林業、商工業など地域の経済を支え、守っていただいています。

池田のり久は、この魅力ある美しい農村地域を活性化させ、いつまでも安心して暮らしていける地域にしたいと強く考えています。地域を歩き、自分の目で見て、人々の声を聞き、地域振興や環境保全のあり方を考えてきました。

特に奈良県が管理する県道整備やバス路線の確保、農林業の担い手の育成や鳥獣害被害の抑止、商工業の活性化による景気回復と、若者や女性の働く場の確保、さらには医療や介護、

道路整備の要望(一部抜粋)  
県管内の道路は、安全で快適な交通手段として、整備・改良工事の促進について以下の要望を受けています。

- 国道369号 改良工事(大保、(中ノ川)
- 国道25号 小倉～針の道路整備
- 山添村 菅生勝原間の道路未改良区間
- 山添村 切幡地区の道路等改修整備
- 山添村 五月橋の架け替え工事
- 奈良笠置線 道路拡幅整備(須川～北村)
- 天理加茂木津線 道路改良工事(大平尾)
- 奈良名張線 信号設置(名荷町・日笠町)、草刈りなど県道の維持管理(田原地区・水間)
- 福住上三橋線 精華地区内の県道の草刈りと道路改良
- 月瀬梅林山添線(山添～月ヶ瀬梅林)
- 月瀬三ヶ谷線 改良工事(大塚～三ヶ谷)
- 助命下線 改良工事(下深川地域)
- 北野山線 改良整備(下深川地域)
- 岩鹿三ヶ谷線 改良工事
- 上笠間八幡名張線 改良整備(岩屋～上笠間)
- 山添桔梗ヶ丘線 改良工事(五月橋～広瀬)
- 月瀬針線 針ヶ所町下 下戸ヶ橋の改良と道路拡幅整備
- 通学路となっている県管理の国道や県道における歩道、ガードレール、カーブミラーの設置等の安全対策
- 道路に覆いかぶさり車やバス・トラックの通行に危険な樹木の伐採、側溝の清掃
- 道路のアスファルト舗装工事、センターライン等の明示(引き直し)

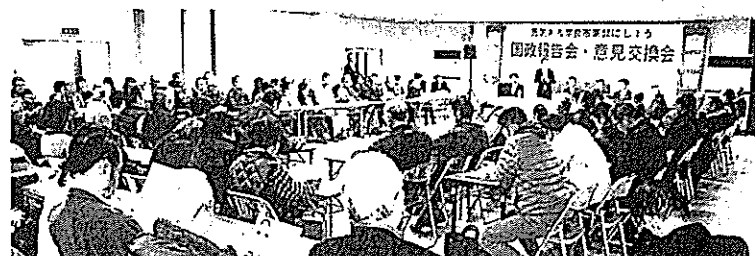
#### 鳥獣害対策

イノシシやシカ、サルに加えて外来種のアライグマによる農作物の鳥獣被害が年々拡大している中、被害抑制のための防護柵や檻などを設置し、捕獲対策に力を入れています。

「奈良の鹿」は、昭和32年に国の天然記念物に指定されているため、これまで有効な対策をとることができませんでしたが、平成29年から田原地区および東里地区においてシカの捕獲をスタート。同30年度は檻やくくり縄を増やすとともに、対象地区を奈良市東部に、対象全体と精華地区に拡大

整備は必要であると考えています。いただいている道路関係の要望をできるだけ早期に整備できるように取り組んでいます。

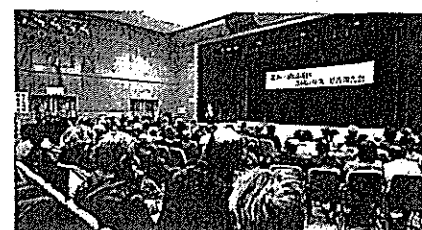
また台風被害からの復旧については、迅速かつ着実な復旧に取り組む必要性を県当局へ要請しています。加えて近年の台風やゲリラ豪雨などの異常気象により土砂災害の危険性が指摘されています。これらの対策と未整備箇所予算確保に努めています。



東部地域を元気に! 報告会・意見交換会を開催



東部地域で稲刈り



都祁・山添地区で県政報告会を開催

また補助を受けやすく、効率的な農業を目指した農業法人の設立が多くみられます。このような取り組みを支援し、次の世代でも米、野菜、茶、畜産など農業を続けられるよう、それぞれの課題に向き合い、解決策を一緒に考えてまいります。

農業者の環境整備に補助金を出している。農業をする環境整備については、国の交付金を活用しながら、農地の整備に力を入れています。奈良市北村地区では、ほ場整備事業(20秒)がスタートし、既にあるほ場整備地域では、補修や改修など再整備する動きがあります。



暮らしの安心をつくり、交流人口増めです

## 農村地域の発展と活性化へ

皆さまの意見お聞かせください

■スマート農業の研究開発  
近年、効率良く農業ができる、高齢者や女性に對し体力的負担の少ない「スマート農業」の研究開発、現場への試験的導入が始まっています。奈良県においてもその可能性を前向きに検討し、導入していくことが求められています。

この「スマート農業」はロボットやICT(情報通信技術)、AI(人工知能)などの先端技術を活用し、省力化や生産物の品質向上を可能にする新しい農業のことです。日本の農業が抱える高齢化、後継者不足などの労働力不足など、さまざまな課題を解決することが期待されています。

例えば「収穫用ロボット」を使い、人の手で行っていた収穫作業をロボットが行えるようになります。最近では、作物の状態や最適な熟度をロボットが判断し、収穫するものも開発されています。

また「農業用ドローン」を使い、農薬散布など省力化と低コストが図れるほか、「ICTやAI」を活用して作物の生産管理を行い、品質を高め、収穫量を増やすことにより、収益の向上につながります。データに基づく適切な対応ができるた

め、台風や長雨など天候による影響を軽減することもできます。

スマート農業には省力化や生産性向上など多くのメリットがあり、池田のり久は、農村地域での導入に向けた研究や試験、支援などに努めていきたいと考えています。

■林業 適切な管理へ  
林業においては、森林経営管理法に基づき、平成31年4月から新たな森林経営管理システムがスタートし、森林の適切な管理が図られるようになります。

林業においては、森林経営管理法に基づき、平成31年4月から新たな森林経営管理システムがスタートし、森林の適切な管理が図られるようになります。

### 森林経営管理法(新たな森林管理システム)の概要

- ①森林所有者に適切な森林の経営管理を促すため責務を明確化
- ②森林所有者自らが森林の経営管理を実行できない場合に、市町村が森林の経営管理の委託を受ける
- ③林業経営に適した森林は、意欲と能力のある林業経営者に再委託
- ④再委託できない森林および再委託に至るまでの間の森林は、市町村が公的管理を実施



さまざまな取り組みが生まれつつあります。

これまでのマラソン大会に加え、自転車によるツーリング大会や地域を巡る歩こう会、トレイルランなどのイベントもこの地域で開催できたら良いと考えています。

人が集まると、そこに新たなニーズが生まれ、新しい事業(商業)や雇用が生まれます。地域の皆さまと知恵を絞り、いろんなことにチャレンジしていきたいと考えています。

■暮らしの安心をつくる

医療や介護については、ディサービスの利用や施設入所を希望する方々が年々増えています。また健康を維持するため、コミュニケーションが保健指導をおこなうなど、病気の予防や未然に防ぐ予防対策の取り組みが始まっています。

また子育てにおいては、少人数学級や複式学級への不安解消や、子育て世代の負担軽減などにも取り組んでいます。魅力あふれる美しい農村地域を活性化させ、いつまでも安心して暮らしていける地域にしたいと強く考えています。

奈良市東南部、山添村に広がる農村地域の発展と活性化に取り組む池田のり久の県政報告会や意見交換会にとどまらず、ミニ集会や座談会において皆さまのご要望やご意見をお聞かせいただけたら幸いです。

### 池田のり久の県議会における農村地域に関わる質問(抜粋)

#### 【平成27年12月議会(一般質問)】

○移住促進について  
奈良県南部・東部地域への移住についての基本的な考え方、移住者を受け入れるための拠点整備など、具体的な取り組みはどのようなものか伺いたい。

#### 【平成27年12月議会(一般質問)】

○農業振興と農村再生について  
①新規就農者に定着してもらうためには、技術習得を含め、安定的に生活ができるよう支援していくことが必要と考えるが、県はどのような取り組みを行っているのか。また新規就農者をさらに増やすためにはどのような課題があり、今後、農業の担い手育成について、どのように取り組んでいくのか。  
②耕作放棄地の解消のため、県はどのように取り組んでいくのか。

#### 【平成27年12月議会(一般質問)】

○道路・橋梁等の維持管理について  
道路・橋梁等の維持管理について、ライフサイクルマネジメントにより経費の平準化を図るなど、限られた予算の中でコスト削減を進める必要があると考えるが、現状および今後の計画はどのようなものか。

#### 【平成27年12月議会(一般質問)】

○通学路の安全対策について  
奈良県安心歩行空間整備方針に基づく取り組み

みの中でも、特に通学路の安全対策は優先すべきと考えるが、県の取り組みについて伺いたい。

#### 【平成28年6月議会(一般質問)】

○奈良市日笠町交差点における安全対策について  
奈良東部広域農道と県道奈良名張線が交わる奈良市日笠町の交差点において、安全対策を今現在どのように考えているのか、具体的に伺いたい。また奈良東部広域農道の開通見通しはどうか。

#### 【平成28年9月議会(自由民主党 代表質問)】

○奈良県産畜産物のブランド化の推進と戦略的な販売プロモーションの強化について  
奈良県の農業振興のためには、生産、流通、販売の関係者や市町村と連携しつつ、奈良県産畜

産物のブランド化の推進と戦略的な販売プロモーションの強化が重要と考えるがどうか。

#### 【平成29年6月議会(一般質問)】

○奈良市東部地域における農村活性化について  
奈良市東部地域における農業振興を図るため、地域の取り組みに奈良市と奈良県が連携、協力し、農村活性化を進める必要があると考えるが、現在の検討状況はどうか。

#### 【平成29年6月議会(一般質問)】

○野生鳥獣による農作物の被害について  
野生鳥獣による農作物被害は、県内各地で発生しており、多くの被害が出ていると聞いているが、奈良県および奈良市における被害状況と被害対策の取り組みについて伺いたい。

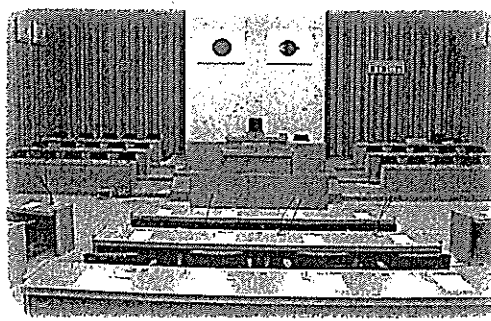
#### 【平成29年6月議会(一般質問)】

○旧奈良市内における鹿害対策について  
月ヶ瀬・都祁を除く旧奈良市内における鹿による農作物被害への対策について、どのように考えているのか。

#### 【平成30年9月議会(一般質問)】

○農村資源を活用した地域づくりについて  
農村資源を次世代に継承するとともに、農村資源を活用した魅力と賑わいのある地域づくりを推進するため、今後どのように取り組まれようとしているのか。

(平成30年9月議会終了時点)



## 第11号様式の5 (第5条関係)

政務活動記録簿 (広報紙の発行・発送等)					
会派・議員名 池田 慎久					
年 月 日	平成31年2月22日 (金)				
表題と発行部数	池田のり久県政報告 (旧奈良県総合医療センター跡地活用プロジェクト版) 10,000部				
対象者	奈良市ほか奈良県内在住者				
配布方法	郵送 435部、手配り 165部、ポスティング 9,400部				
発行目的	奈良県政および奈良県議会における取り組み等について、広く県民に広報することを目的とする。 また県民からご意見やご要望等を拝聴する機会とする。				
按分率の説明	按分率 79.5% 県政報告 (旧奈良県総合医療センター跡地活用プロジェクト版) のうち、氏名・写真・キャッチフレーズ・政党名等の記載部分の面積を除く 79.5%を充当。				
内容	旧奈良県総合医療センター (旧県立奈良病院) 跡地活用 まちづくり協議会 地域包括ケア 跡地活用プロジェクト (案) 検討施設 まちづくりに関する要望内容 (バス路線の確保・道路拡幅・通学路の安全対策)				
編集・制作・ 発送等に要した 経費	項目	支払先	金額	金額の積算	領収書番号
	編集・製作 印刷代	㈱大和政 経通信社	148,500円	単価 13.70円× 10,000部+消費税 +振込手数料	128
	郵送料 2/25	日本郵便 ㈱	12,398円	単価 82円×131通 単価 92円×18通	130
	郵送料 2/26	日本郵便 ㈱	12,378円	単価 92円×98通 単価 82円×41通	131
	郵送料 3/8	日本郵便 ㈱	12,054円	単価 82円×147通	142
	※79.5%充当 合計 185,330円				
備考	添付資料：池田のり久県政報告 (旧奈良県総合医療センター跡地活用プロジェクト版)				

注 発行した広報紙を添付してください。



自由民主党のエース 若さと行動力!! 今こそ、世代交代!

奈良県議会議員

新時代!未来へ挑戦!!

奈良の安心・元気・未来をつくる!

# 池田のり久

## 県政報告

伏見幼・伏見小  
京西中 出身

池田のり久事務所

〒631-0845 奈良市宝来3丁目1-10 TEL:0742-48-0680  
公式ホームページ <https://ikeda-norihisa.jp/>



県立奈良病院跡地活用

まちづくり協議会で検討重ね

いつまでも安心して暮らせるまちをつくる

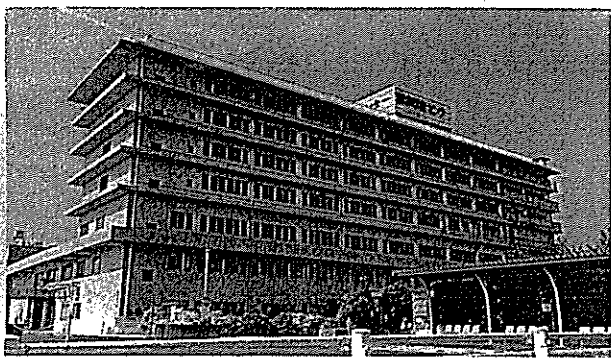
## 地域包括ケアの拠点に

地域医療を長年支えてきた県立奈良病院(平松町)の跡地活用について、地元の伏見南地区自治連合会、社会福祉協議会、民生児童委員協議会、万年青年クラブ、自主防犯協議会、小学校や幼稚園のPTA関係者など、各種団体の代表と、奈良県、奈良市の3者で「まちづくり協議会」を立ち上げ、これまで計12回の協議・検討を重ねてきました。これらの意見を集約した現在の状況を報告します。

県と奈良市は平成27年1月に「奈良県と奈良市とのまちづくりに関する包括協定」を締結し、共に奈良市内の4つのエリアのまち

づくりを進めています。平松周辺のエリアでは、奈良県総合医療センター(七条西町)が昨年5月に移転オープンしたことに伴い、県立奈良病院跡地の活用も、この包括協定に盛り込まれており、地域のさまざまな団体の代表者と、県、市が「まちづくり協議会」において、協議・検討を重ねてきました。

各地域の委員の皆さまからは「医療やクリニックなどの医療施設」や、若い世代を呼び込むための「子育て支援施設」、災害時に備えた「備蓄倉庫を含む避難所や防災公園の整備」などのご意見、ご要望をいただいております。これらを加味しながら跡地活用の具体的な青写真を描いていきます。(裏面へ続く)



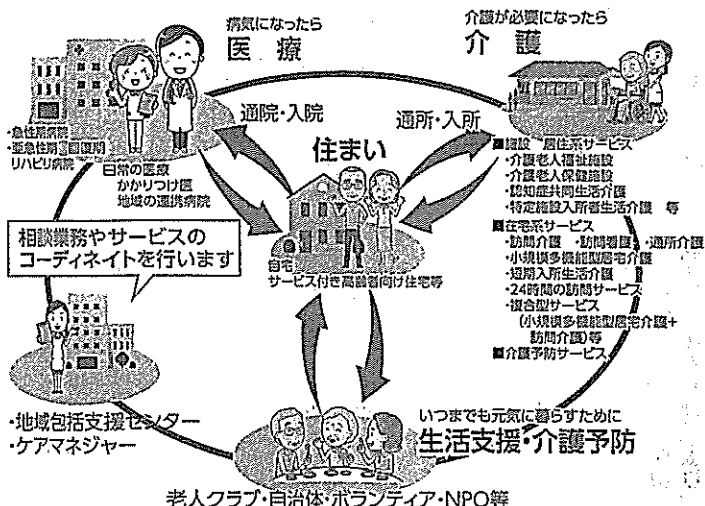
### 地域包括ケアの拠点

団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。

今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。

人口が横ばいで75歳以上の人口が急増する大都市部、75歳以上の人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。

地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。(厚生労働省から)



※地域包括ケアシステムは、おおむね30分以内に必要なサービスが提供される日常生活圏(身体的には中学校区)を単位として想定

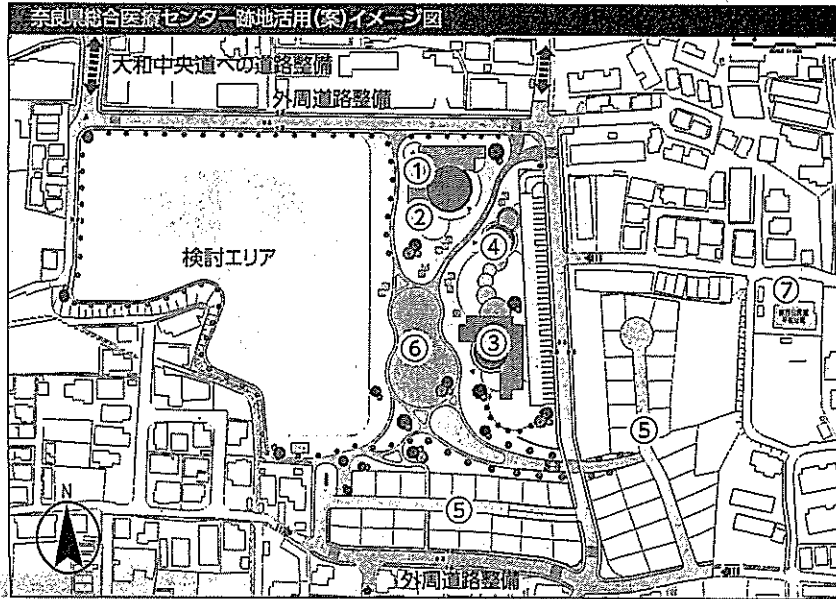


県立奈良病院跡地活用

## 平松分館整備やバス路線も要望 奈良市子どもセンター整備へ

### 平成33年度の一部まち開き目指す

- ①:介護福祉施設  
地域包括支援センター  
看護付小規模多機能型居宅介護  
訪問介護ステーション・グループホーム
- ②:健康増進機能  
健康ステーション
- ③:子どもセンター  
児童相談所・一時保護所  
地域子育て支援センター  
子ども発達センター
- ④:賑わい交流施設  
マルシェ・フードキッチン  
移動型店舗エリア  
(フードトラック・フリーマーケットなど)
- ⑤:戸建て住宅  
若年層向け住宅他(計53戸)
- ⑥:公園機能  
緑の広場・水辺の広場・キッズパーク  
防災倉庫
- ⑦:平松分館リニューアル  
調理室新設・内外部改修



（表面から続く）  
活用案の青写真イラスト参照  
IIのように、跡地には「介護福祉施設」、「健康増進機能」、「子どもセンター（仮称）」、「賑わい交流施設」、「戸建て住宅」、「公園機能」、「京西公民館平松分館リニューアル」の機能を持たせることになっており、平成33年度に一部まち開きを目指しています。

この新しい活用案にある介護福祉施設のエリアでは、地域包括センター、看護付小規模多機能型居宅介護、訪問介護ステーション・グループホームを整備し、住民の方々の医療や介護に関する総合的な相談窓口、見守りが365日包括的に提供されるような複合的な事業所を誘致します。また外来診療、訪問診療を行う診療所の誘致を目指します。

健康増進機能では、介護予防やリハビリ、フィットネスやプールなど、地域住民の方々の健康増進のための施設整備を行います。

新たに活用案に盛り込まれた子どもセンター（仮称）は、表参照IIの整備は、子どもとその保護者の遊ぶ場や交流の場の提供、相談窓口、療育が必要な子どもに対する指導や訓練、児童相談所、専門スタッフによる相談や援助を行う一時保護所などの機能を有する複合的な施設になる予定です。  
賑わい交流施設は、地産地消の

スーパーやレストラン、地場産マルシェをはじめ、フリーマーケットやイベントの開催など、地域の方々が集り、交流できる場にしていくことになっていきます。  
また計53戸の戸建て住宅用の区画には子育て世帯や若者向けのまちになるよう整備を進めます。

公園機能では、小さな子どもや保護者が使えるキッズパークに加えて、健康推進器具を設置し、緑豊かな公園を作ります。

市内のすべての子どもや家庭をワンストップで支援

### 子どもの健やかな成長を応援する総合施設

#### 地域子育て支援センター

- ・子ども(概ね0～3歳)とその保護者の遊びや交流の場
- ・子育てに関する総合窓口
- ・育児情報の提供の場

#### 子ども家庭総合支援拠点

- ・市民に身近な相談窓口
- ・こんにちは赤ちゃん訪問
- ・助産制度
- ・ショートステイ事業

#### 児童相談所・一時保護所

- ・専門職による相談・援助
- ・子どもの安全を確保
- ・施設や里親への委託

#### 子ども発達センター

- ・就学前の子どもの発達に関する相談
- ・療育が必要な子どもに対する指導・訓練

奈良市子どもセンター(仮称)

県政にまつわるご意見やご要望は池田のり久事務所まで

池田のり久は、県議会本会議の質問回数は8回におよび、奈良市・山辺郡選挙区選出の県議で最多、自民党籍の県議21人に中でも最多になっています。(平成30年9月議会終了時点)

地域を歩き、自分の目で事象を見定め、耳を傾け、若さと行動力で住民の皆さまと共に、奈良の安心・元氣・未来をつくっていきたいと考えています。

県政にまつわるご意見やご要望がありましたら、県議会議員池田のり久へご気軽ご連絡下さい。

池田のり久事務所

TEL 631-0845 奈良市宝来3丁目1-10  
TEL 0742-48-0680  
<https://lkeda-norihisa.jp/>



隣接する京西公民館平松分館は、地元の方々からご要望をいただいている調理室の新設と、内外の補修、改修を進めていくことになっています。

このプロジェクトに当初から、まちづくり協議会の委員として関わっている池田のり久は、地域包括ケアの拠点整備により、医院やクリニックなどの医療機関の拡充、在宅医療や在宅看護・介護・リハビリなど医療介護予防サービスの充実とともに、子どもセンターの整備により子育て環境の向上、さらに賑わい交流施設を通して地域の活性化につながると考えており、これまで住民の皆さんからお寄せいただいているすべての要望の実現を通して、このプロジェクトを成功させるために引き続き尽力してまいります。

また併せて、伏見南地区と六条地区、伏見地区の利便性の向上と発展につながる「奈良県総合医療センター」から平松・宝来を通り、近鉄大和西大寺駅南口へのバス路線の確保についても、住民の利便性の向上と地域の発展につながると考えており、道路の拡幅整備と通学路の安全対策を含めて関係機関に強く働きかけてまいります。

平成30年度事務所状況報告書

会派・議員名 池田 慎久

①政務活動事務所	<input checked="" type="checkbox"/> 自宅                      □ 自宅以外
②所在地	住所 奈良市宝来 3-1-10 電話 0742-48-0680                      延べ床面積 264.08 m <sup>2</sup>
③他用途との兼用	<input checked="" type="checkbox"/> 無 □ 有          □ 後援会の事務所 □ 政党事務所 □ その他（ 自宅 ）
④所有区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自己又は配偶者、3親等以内の親族、同一生計者の所有 □ 賃貸物件（賃貸借契約先所有者 □ 第三者） □ 自己・同一生計者が経営する法人 （登記簿の目的に不動産の賃貸有） □ 自己・同一生計者が経営する法人 （登記簿の目的に不動産の賃貸無）
⑤按分率の考え方	□ 使用実態（使用面積又は使用時間による） <input checked="" type="checkbox"/> 事務所（自宅）全体面積 264.08 m <sup>2</sup> （a） うち政務活動使用面積 105.06 m <sup>2</sup> （b） □ 事務所使用时间      時間（a） うち政務活動使用时间      時間（b） （b）／（a）＝105.06／264.08→      按分率 39.7%
⑥事務所賃借料の計上	<input checked="" type="checkbox"/> 無 □ 有      按分率      / （按分率の考え方：                      ）
⑦駐車場代の計上	<input checked="" type="checkbox"/> 無 □ 有      □ 来客専用      按分率      / □ 来客兼用      按分率      / （按分率の考え方：                      ）
⑧光熱水費・維持管理費の計上	□ 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有      按分率 39.7% （按分率の考え方：上記⑤と同様に按分率 39.7%を充当）
⑨備考	

注 賃貸借（事務所・駐車場）の場合は、別途契約書を添付してください。

番号	名称	規格・機種	数量	取得			処分の状況			保管場所	備入考 (購入先)
				単価 (単位:円)	取得金額 (単位:円)	年月日	価格	処分の内容	年月日		
1	ノートパソコン	NEC VersaPro PC-VKT12 HG76451	1	167,400	167,400	平成30年8月2日				政務活動事務所(自宅)	株式会社サミーンシステム (奈良市三条宮前町1-20) から購入
2	コピー機	ゼロックス DocuCentre-IV C2263	1	99,360	99,360	平成30年12月28日				政務活動事務所(自宅)	株式会社サミーンシステム (奈良市三条宮前町1-20) から購入
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
平成30年度計				2	266,760						

注 1 1件の取得価格が3万円以上(消費税込み)の備品等の財産を取得した場合、この台帳に記入するものとする。

2 年度ごとに集計し、政務活動費収支報告書とともに随長へ提出することとする。

3 購入単価(税込)は上限10万円とする。(ただし、パソコンを除く。)

4 処分の内容欄には、売却払い、廃棄処分等別に記入すること。

5 備考欄には取得の相手方又は処分の相手方等を記入すること。

6 保管場所を明らかにし、現物確認ができる状態とすること。